

日本生命倫理学会 国際交流助成制度

● 2019 年度 American Society for Bioethics and Humanities 年次大会参加助成

1. 目的

日本生命倫理学会(以下 JAB と表記する)は、学会員の国際学会発表を奨励し、国際交流の活性化をはかるため、生命倫理に特化した国際学会で発表を行うことが決定した学会員に助成金を支給する。この目的のもと、今回は 2019 年 10 月に米国ペンシルバニア州で開催される American Society for Bioethics and Humanities(以下 ASBH と略する)年次大会において発表を行う予定の JAB 会員を対象にして助成金を支給する。

2. 対象となる大会とその情報

- ASBH 第 21 回年次大会(ASBH 21st Annual Conference)
- 開催期間: 2019 年 10 月 24 日から 27 日
- 開催場所: アメリカ合衆国ペンシルバニア州ピッツバーグ

3. 対象者

- ASBH 第 21 回年次大会に演題を申し込み、Proposal が受理された JAB 会員 1 名。
- なお、対象となる ASBH 年次大会における発表形式の分類は以下の通り(<http://asbh.org/annual-meeting/proposals>)。

- ① **Workshop:** Designed for instruction and interaction in a 90-minute session. These sessions are limited to 4 presenters, preferably from multiple disciplines and institutions.
- ② **Panel Presentation:** Compare and contrast a variety of perspectives on a cohesive theme or includes presentations that are cross-disciplinary and build on one another. Limited to 4 presenters and can be 60 or 90 minutes. One of these 4 presenters will serve as a moderator.
- ③ **Debates:** New this year, this 60 or 90-minute session provides an opportunity to present opposing views about a topic. Sessions must include a moderator to introduce the issue/topic and up to four presenters, each presenting alternate approaches or views to the issue/topic.

- ④ **Paper Presentation:** One individual will have 15 minutes to present a discussion or lecture based on a work-in-progress or a paper whose central, substantive content has not been previously published, followed by 5 minutes to address questions from the audience.
- ⑤ **Flash Presentation:** In this “flash” presentation format, individuals will have 5 minutes to present 3 slides. Members of the ASBH Board of Directors and Program Committee will moderate presentations and interactions with the audience by approximately 10 individuals in a 60-minute session. This format replaces poster presentations.

4. 応募資格

- (1) JAB 会員なら誰でもご応募できます。ただし、若手育成という観点から、選出の過程において大学院博士課程在籍者や博士号取得後 5 年以内(いずれも 2019 年 4 月 1 日時点)の会員に優先度を与える場合があります。
- (2) ASBH 第 21 回年次大会に演題を申し込み、Proposal が受理された JAB 会員。

5. 応募書類

- (1) JAB のホームページからダウンロード、あるいは学会メーリングリストで配布した申請書。なお、申請書内の指定の箇所に、ASBH に受理された Proposal (報告) の内容ないしアブストラクト(英語の場合 500 words 以内、日本語の場合 1000 字以内)を記入すること。
- (2) 2019 年 4 月 1 日時点で、博士号取得後 5 年以内であることを証明できる書類等。

6. 助成金の支給額

申請書の 6 の予算額も参照して、30 万円を上限として支給する。当該の ASBH 年次大会参加に関わる費用に用いること。これらの費用には、たとえば①航空費及び自宅より空港までの往復交通費、②参加登録料、③大会開催地での宿泊費や移動費、④海外渡航保険加入費、⑤その他大会参加に関連することが合理的に認められるような経費を含む。なお、助成金は、ASBH 年次大会終了後、提出書類が確認された後に、指定の銀行口座等への振り込み等で支給する。

7. 受給者の提出書類

助成金受給は、当該の ASBH 年次大会終了後 1 ヶ月以内に以下の書類等を JAB 事務局に提出する。なお、これらの書類等は電子化されて、JAB 事務局に電子メールで送付されるのが望ましい。

- (1) 航空券領収書
- (2) 参加登録証明書(領収書)
- (3) 海外保険加入料(領収書)

8. 受給者の学会への義務

助成金受給者は、JAB のニューズレターへの原稿執筆(学会出席報告を含む)の義務を負う。この原稿(ワードファイル等)は、原則として、当該の ASBH 年次大会終了後 1 ヶ月以内に、JAB 事務局に電子メールで提出すること。

9. 選考方針

応募者の選定にあたっては、4.応募資格の条件に加えて、以下の点を考慮に入れる。

- 1) 3. 対象者の条件のところで記載した ASBH 年次大会における発表形式の分類。たとえば、⑤の Flash Presentation よりは④の Paper Presentation の方が、④よりは③の Debates の方が重要視される。このように、基本的には①>②>③>④>⑤のような優先順位となる。
- 2) ASBH に受理された Proposal(報告)の内容ないしアブストラクト(英語の場合 500 words 以内、日本語の場合 1000 字以内)。報告内容が優れていることが重視される。
- 3) 申請書における「6. 収入支出予算(概算)」の合理性。

10. 審査の主体とプロセス

JAB 国際交流委員会が審査し、代表理事に推薦する。代表理事が理事会審議を通じて受給者を選定する。

11. 申請書および応募の締め切りについて

- JAB のホームページからダウンロード、あるいは学会メーリングリストで配布した申請書を使用すること。
- 申請書や必要書類は原則として電子化し、JAB 事務局宛 (jab@nifty.com) に電子メールで送信すること。
- 申請書の提出締め切りは、2019 年 6 月 15 日とし、ASBH において Proposal が受理された場合、速やかに事務局に受理を証明する書類(ASBH による受理を通知するメールのコピー等)を、上記 JAB 事務局に電子メールで提出する。
- その後に、国際交流委員会で審議する。国際交流委員会の審議は 1 ヶ月以内に行い、理事会承認を得て、申請者へ速やかに採択についての結果を通知する。
- なお、ASBH に提出した Proposal が受理されたかどうか等の情報は、2019 年 5 月末に ASBH 事務局から本人に知らせが届くことになっている(<http://asbh.org/annual-meeting/proposals>)。